PHILIPS

B Line

328B1

www.philips.com/welcome

JA ユーザーマニュアル 1

カスタマサポートと保証 24

トラブルシューティング& FAQ 27

目次

1. 重要 1
   1.1 安全のための注意事項とメンテナンス 1
   1.2 表記の説明 2
   1.3 製品と梱包材料の廃棄 4

2. モニタをセットアップする 5
   2.1 取り付け 5
   2.2 モニタを操作する 7
   2.3 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし 10

3. 画像の最適化 12
   3.1 SmartImage 12
   3.2 SmartContrast 13

4. PowerSensor™ 15

5. Adaptive Sync 17

6. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計 18

7. 技術仕様 19
   7.1 解像度とプリセットモード 22

8. 電源管理 23

9. カスタマサポートと保証 24
   9.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー 24
   9.2 カスタマサポートと保証 26

10. トラブルシューティング& FAQ .. 27
   10.1 トラブルシューティング 27
   10.2一般FAQ 28

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philipsモニタを使用するユーザーを対象にしています。モニタを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。モニタの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電気的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのモニタを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- モニターを直射日光やきわめて明るい光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間さらされると、モニタが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、モニタの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- モニタの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでモニタの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 指定された電源で動作させてください。必ず指定の電源でモニターを操作してください。誤った電圧で使用すると故障の原因となり、火災や感電の原因となります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルや信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電の原因となることがあります。
- パネルがベゼルから外れるなどの損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。-5度下向き傾き最大角度を超え、ディスプレイが損傷した場合、保証の対象外となります。
- 操作中、モニタに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- 操作または輸送中、またLCDを強く打ったり落としたりしないでください。

メンテナンス

- モニタを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。モニタを動すときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてモニタを持ち上げないでください。
- 長時間使用しない場合は、電源ののプラグを抜いてください。
- 汚れのふき取りには、柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してモニタを洗浄することは絶対におやめください。

- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、モニタを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- モニタが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- モニタに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でモニタを保管したり、使用したりしないでください。
- モニタの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る環境でモニタを使用してください。
  - 温度：0～40°C 32～104°F
  - 湿度：20～80% RH

焼き付き/ゴースト像に関する重要な情報

- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告
スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照してください。）
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内/トランクにモニタを放置しないでください。

注
モニタが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、カスタマケアセンターにお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロックkにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

注
このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

注意
このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

警告
このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

注

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器-WEEE

This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the important of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

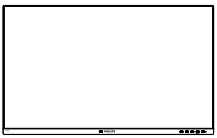
To learn more about our recycling program please visit

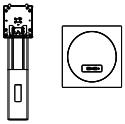
http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html

2. モニタをセットアップする

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの





Stand/Base

* CD

Power

*HDMI

* DP

*USB A-B

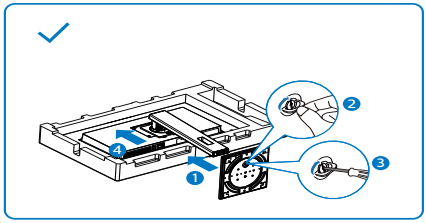
* プログラムによって異なります。

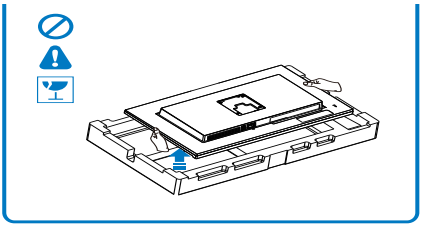
注

販売する国・地域により付属されるケーブルが異なることがございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

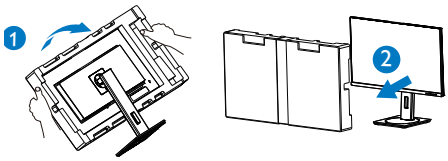
2 ベースの取り付け

1. このモニタを十分に保護し、モニタの傷や損傷を避けるため、モニタを下向きにしてベース取り付け用のクッションに入れてください。

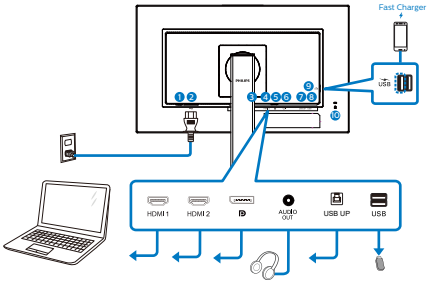


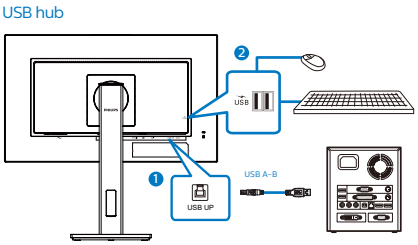


2. 両手でネックを保持します。
   (1) VESA マウント部の掛け金がロックされるまでゆっくりとスタンドを取り付けます。
   (2) ベースをスタンドにそっと取り付けます。
   (3) 指を使ってベース下部にあるねじを締め付け、ベースをスタンドにしっかり固定します。
3. ベースを取り付けたら、両手でモニターと発泡スチロールを一緒にしっかりと保持して立てます。発泡スチロールを引き出してください。発泡スチロールを引き出すときは、パネルの破損を避けるため、パネルを絞らないでください。



3 PCに接続する





❶ 電源スイッチ
❷ AC電源入力
❸ HDMI 1入力
❹ HDMI 2入力
❺ ディスプレイポート入力
❻ オーディオ出力
❼ USB UP
❽ USBダウンストリーム
❾ USBダウンストリーム/USB高速充電器
❿ Kensingtonロック

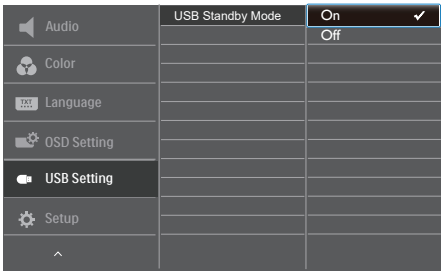
PCに接続する

1. 電源コードをモニタ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. モニタに信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとモニタの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとモニタの電源をオンにします。モニタに画像が表示されたら完了です。

4 充電用USB

このディスプレイには USB ポートがあり、USB 充電など、標準的な電力を出力できます (パワーアイコン で識別可能)。そのポートからスマートフォンを充電したり、外付け HDD に電力を供給したりできます。この機能を利用するには、ディスプレイの電源を常に入れておく必要があります。

一部の Philips ディスプレイでは、“スリーブ/スタンバイモード” モードに入ると、デバイスの給電・充電が停止することがあります (白のパワー LED が点滅します)。その場合、OSD メニューに入り、“USB Standby Mode” を選択し、“オン” に切り替えてください (初期設定はオフです)。これで、モニターがスリーブ/スタンバイモード モードに入っても、USB 給電・充電機能が維持されます。



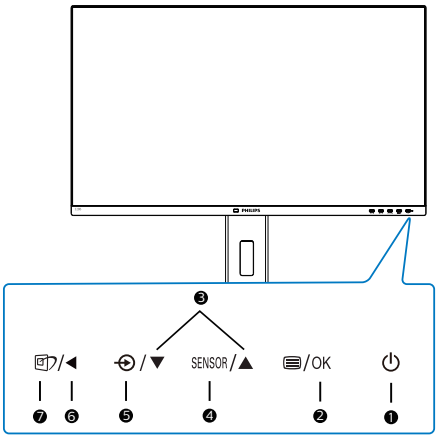
注
電源スイッチでモニターの電源を切った場合、すべての USB ポートがオフになります。

警告
無線式のマウス、キーボード、ヘッドホンなど、USB 2.4Ghz デバイスは USB 3.2 デバイスの高速信号により干渉を受け、その結果、無線送信の効率性が低下する可能性があります。その場合、次の方法で干渉を抑えてください。

- USB2.0レシーバーをUSB3.2接続ポートから離す。
- 標準のUSB拡張ケーブルまたはUSBハブを利用し、無線レシーバーとUSB3.2接続ポートの間の距離を増やす。

2.2 モニタを操作する

1 コントロールボタンの説明

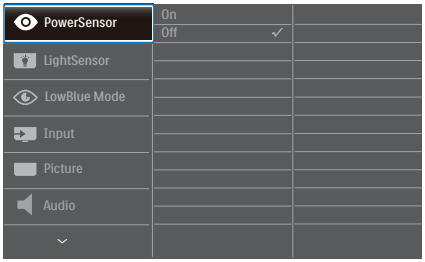


❶	⏻	モニタのスイッチのONとOFFを切り替えます。
❷	/OK	OSDメニューにアクセスします。OSD調整を確認します。
❸	▲▼	OSDメニューを調整します。
❹	SENSOR	PowerSensor
❺		信号入力ソースを変更します。
❻	◀	前のOSDレベルに戻ります。
❼		SmartImageホットキー。次の8つのモードを選択できます: EasyRead、Office(オフィス)、Photo(写真)、Movie(動画)、Game(ゲーム)、Economy(エコノミー)、LowBlue Mode（LowBlue モード）、SmartUniformity、Off(オフ)。

2 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ(OSD)とは?

オンスクリーンディスプレイ(OSD)はすべてのPhilips LCDモニタに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりモニタの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。



コントロールキーの基本および簡単な指示

上に示したOSDで、モニタの前面ベゼルの▼▲ボタンを押してカーソルを動かしたり、OKボタンを押して選択または変更を確認できます。

OSDメニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

Main menu	Sub menu	
PowerSensor	On Off	0,1,2,3,4
LightSensor	On Off	
LowBlue Mode	On Off	1,2,3,4
Input	1 HDMI 2.0 2 HDMI 2.0 DisplayPort	
Picture	SmartImage	EasyRead/Office/Photo/Movie/Game/Economy/LowBlue Mode/SmartUniformity/Off
	Adaptive Sync	On, Off
	Picture Format	Wide screen, 4:3, 1:1
	Brightness	0–100
	Contrast	0–100
	Sharpness	0–100
	SmartResponse	Off, Fast, Faster, Fastest
	SmartContrast	On, Off
	Gamma	1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6
	Pixel Orbiting	On, Off
	Over Scan	On, Off
Audio	Volume	0–100
	Mute	On, Off
Color	Color Temperature	Native,5000K,6500K,7500K,8200K,9300K,11500K
	sRGB	
	User Define	Red: 0–100 Green: 0–100 Blue: 0–100
Language	English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Maryar, Nederlands, Português, Português do Brazil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어	
OSD Setting	Horizontal	0–100
	Vertical	0–100
	Transparency	Off, 1, 2, 3, 4
	OSD Time Out	5s, 10s, 20s, 30s, 60s
USB Setting	USB Standby Mode	On, Off
Setup	Power LED	0,1,2,3,4
	Resolution Notification	On, Off
	Reset	Yes, No
	Information	

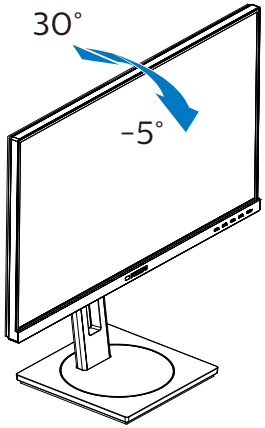
3 解像度通知

このモニタは、そのネーティブ解像度3840 x 2160で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。モニタが異なる解像度で作動しているとき、画面にアラートが表示されます。ディスプレイは3840 x 2160 の解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。

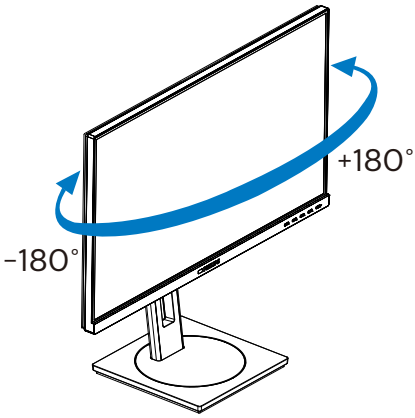
解像度アラートの表示は、OSD（オンスクリーンディスプレイ）メニューのSetup（セットアップ）からオフに切り替えることができます。

4 向度調整

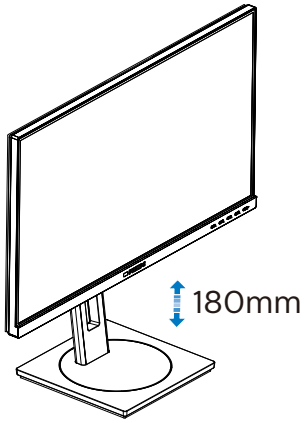
チルト



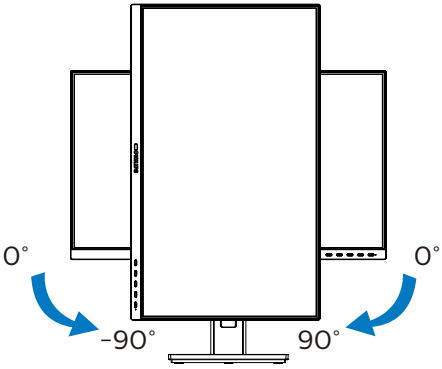
スイベル



高さ調節



ピボット



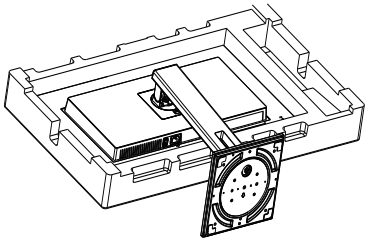
⚠ 警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。 ベゼルのみを持つようにしてください。

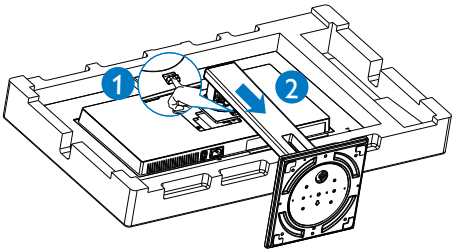
2.3 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、モニタベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

1. ディスプレイを画面を下にして平らな場所に置きます。このとき、画面にひっかき傷が付いたり損傷しないように、柔らかい布などを敷いてください。

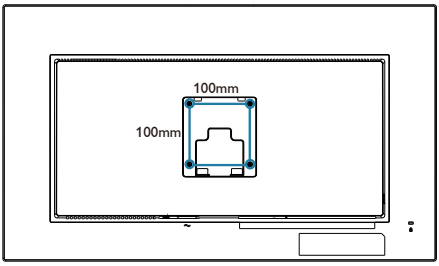


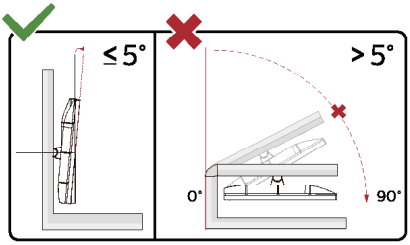
2. リリースボタンを押したまま、スタンドを傾けて、スライドしてはずします。



注

このディスプレイは 100mm x 100mm VESA 準拠の取り付けインターフェースに対応しています。





* ディスプレイのデザインは、これらの図とは異なる場合があります。

警告

- パネルが外れるなどの画面の損傷を防止するため、ディスプレイを-5度以上下向きに傾けないようにしてください。
- ディスプレイの角度を調整しているときに、画面を押さないようにしてください。 ベゼルのみを持つようにしてください。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 SmartImageとは?

SmartImageはさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされて、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImageは最適化された最高のモニタパフォーマンスを発揮します。

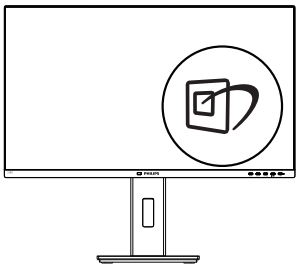
2 必要な理由は?

あなたはお気に入りのタイプのコンテンツをすべて最適化された状態で表示するモニタを必要としています。SmartImageソフトウェアは輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整し、あなたのモニタの鑑賞体験を向上します。

3 これは、どのように作動するのですか?

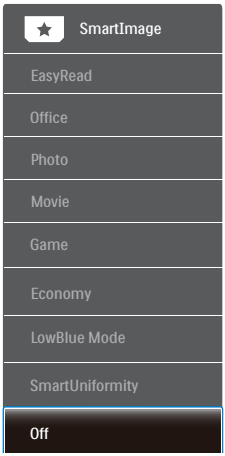
SmartImageは画面に表示されたコンテンツを分析するPhilips独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImageは画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては1つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

4 SmartImageはどのようにして有効にするのですか?



1. を押して画面ディスプレイでSmartImageを起動します。
2. ▼▲ EasyRead、Office（オフィス）、Photo（写真）、Movie（動画）、Game（ゲーム）、Economy（エコノミー）、LowBlue Mode（LowBlueモード）、SmartUniformityおよびOff（オフ）のいずれかを選択するには上下に切り替えます。
3. 画面ディスプレイのSmartImageは5秒間画面に表示されています。または「OK」を押して確認することもできます。

次の8つのモードを選択できます:EasyRead、Office（オフィス）、Photo（写真）、Movie（動画）、Game（ゲーム）、Economy（エコノミー）、LowBlue Mode（LowBlueモード）、SmartUniformityおよびOff（オフ）。



- EasyRead：PDF電子書籍のようなテキストベースのアプリケーションの読み取りの向上に役立ちます。テキストコンテンツのコントラストと境界のシャープネスを上げる特殊なアルゴリズムを使用することで、モニタの輝度、コントラスト、色温度が調整され、ディスプレイはストレスなしに読み取ることができるように最適化されます。

- Office（オフィス）：テキストを強化して輝度を抑えることで読みやすさを向上し、目の疲れを和らげます。スプレッドシート、PDFファイル、スキャンされた記事、その他の一般的オフィスアプリケーションで作業しているとき、このモードは読みやすさと生産性を大幅に向上します。
- Photo（写真）：このプロファイルは彩度、ダイナミックコントラスト、シャープネス強化を組み合わせて、写真やその他の画像を躍動感にあふれる色でくっきりと表示します。アーティファクトが生じたり色がぼやけることはありません。
- Movie（動画）：輝度を上げ、彩度、ダイナミックコントラスト、レーザーシャープネスを深め、ビデオの暗い領域を細部まで表示します。明るい領域の色落ちはなく、ダイナミックな自然値を維持して究極のビデオ表示を実現します。
- Game（ゲーム）：駆動回路上でオンにすると画面で動く物体の応答時間が速くなり、ぎざぎざの縁が減少して、明るいスキームや暗いスキームのコントラスト比が向上します。このプロファイルはゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- Economy（エコノミー）：このプロファイルの下で、輝度、コントラストが調整され、毎日のオフィスアプリケーションを適切に展示するためにバックライトを微調整して、消費電力を下げます。
- LowBlue Mode（LowBlueモード）：目に易しい生産性に対するLowBlueモード研究は、紫外線には目の損傷を引き起こす可能性があること、LEDディスプレイから放射される短波長の青色光線には、目の損傷の原因となり、時間をかけて視力に影響を与える可能性があることを示しています。 幸福のために開発されたPhilips LowBlueモード設定は、有害な短波青色光を低減するためにスマートなソフトウェア技術を使用しています。
- SmartUniformity（スマートユニフォーミティ）：画面の輝度や色のムラは、LED モニタに起こる一般的な現象です。標準的なユニフォーミティの測定値は 75～80% 前後です。Philips の SmartUniformity（スマートユニフォーミティ）機能を有効にすることで、ディスプレイのユニフォーミティは 95% 以上まで改善されます。その結果、より一貫した実際に近い画像が実現されます。
- Off（オフ）：SmartImageで最適化はされません。

注

TUVローブルーライト認定に準拠するPhilipsローブルーモード。このモードは、ホットキー を押した後、上矢印キーを押してローブルーモードを選択すると有効になります。上記のSmartImage 選択手順を参照してください。

3.2 SmartContrast

1 SmartContrastとは?

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、モニタのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することでクリアで、くっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は?

どのような種類のコンテンツも明瞭に表示され、快適にご覧いただけます。SmartContrastはコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、見やすいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。モニタの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、モニタの寿命を延ばすとができます。

3 これは、どのように作動するのですか?

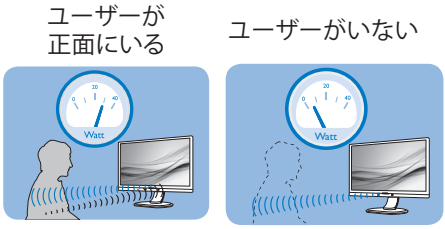
SmartContrastをアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整し、バックライト強度を制御し

ます。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

4. PowerSensor™

1 これは、どのように作動するのですか?

- PowerSensorはユーザーの存在を検出するために、無害な「赤外線」信号の送受信の原理で作動します。
- ユーザーがモニタの正面にいる場合、モニタはユーザーが設定した事前定義された設定(輝度、コントラスト、色など)で通常作動します。
- 例えば、モニタが100%の輝度に設定されていると仮定して、ユーザーが席を離れモニタの前にいなくなった場合、モニタは電力消費を最大80%自動的に削減します。



上に示した電力消費は参照目的のみです。

2 設定

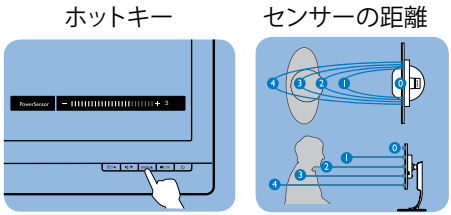
デフォルトの設定

PowerSensor(パワーセンサー)はディスプレイから30~100 cmの間、およびモニタの左右に5度以内にあるユーザーの存在を検出するように設計されています。

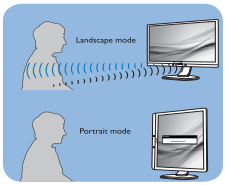
カスタム設定

上に一覧した周囲の外側の位置の方を好む場合、最適の検出効率についてより強い信号を選択してください。設定が高いほど、検出信号は強くなります。PowerSensorの効率を最大限に高め適切に検出するために、自分自身をモニタの真正面に置いてください。

- モニタから100 cm以上自分を離して置くことを選択した場合、120 cmまでの距離に対して最大検出信号を使用してください。(設定4)
- ユーザーがディスプレイから100 cm以内の距離にいる場合でも暗い色の衣服を着ていると赤外線信号を吸収する傾向があるため、黒や他の暗い衣服を着ているときは信号強度を強くしてください。



横置き/縦置きモード



上のイラストは参照目的のみで、本モデルの正確なディスプレイを反映しないことがあります。

3 設定の調整方法

PowerSensorがデフォルトの範囲内でまたは外で正しく作動していない場合、以下の検出を微調整する方法を参照してください。

- PowerSensorホットキーを押します。
- 調整バーが表示されます。
- PowerSensor検出調整を設定4に調整して、OKを押します。
- 新しいセットアップをテストして、PowerSensorが現在の位置で適切にあなたを検出するか調べます。
- PowerSensor機能は、横置きモード(水平位置)でのみ作動するように設計されています。PowerSensorの電源がオンになると、モニタが縦置きモード(90度/垂直位置)で使用されている場合自動的にオフになります。モニタがデフォルトの横置き位置に戻ると自動的にオンになります。

注
手動で選択したPowerSensorモードが再調整されない限り、またはデフォルトモードが呼び出されるまで、現在のモードが作動し続けます。 何らかの理由で、PowerSensorが近くの動きに過度に敏感に反応する場合、信号強度を低く調整してください。センサーレンズは清潔な状態に保ってください。センサーレンズが汚れている場合、アルコールで拭いて距離検出精度の低下を回避してください。

5. Adaptive Sync

Adaptive Sync

PC ゲームは長い間不完全な状態でした。GPU とモニターの更新レートが異なるためです。GPU がモニターの 1 回の更新中に新しいピクチャをたくさんレンダリングできるとき、モニターは各ピクチャの断片を 1 つのイメージとして表示することがあります。これが「テアリング」です。ゲーマーは「v-sync」と呼ばれている機能でテアリングを修正できますが、イメージがちぐはぐになることがあります。GPU は、新しいピクチャを届ける前に、モニターが更新を要求するのを待つからです。

v-sync を利用すると、マウス入力の反応や毎秒の全体フレーム数も下がります。AMD Adaptive Sync テクノロジはこういった問題をすべて解決します。GPU は新しいピクチャが用意できた瞬間にモニターを更新します。信じられないくらい滑らかで、反応性の良い、テアリングのないゲームを楽しめます。

互換性のあるグラフィックスカードでフォロー。

- オペレーティングシステム
  - Windows 10/8.1/8/7
- グラフィックカード:R9 290/300-serie & R7 260シリーズ
  - AMD Radeon R9 300 シリーズ
  - AMD Radeon R9 Fury X
  - AMD Radeon R9 360
  - AMD Radeon R7 360
  - AMD Radeon R9 295X2
  - AMD Radeon R9 290X
  - AMD Radeon R9 290
  - AMD Radeon R9 285
  - AMD Radeon R7 260X
  - AMD Radeon R7 260
- プロセッサーAシリーズデスクトップとモビリティAPU
  - AMD A10-7890K
  - AMD A10-7870K
  - AMD A10-7850K
  - AMD A10-7800
  - AMD A10-7700K
  - AMD A8-7670K
  - AMD A8-7650K
  - AMD A8-7600
  - AMD A6-7400K

6. コンピューター視覚症候群 (CVS) を防止するための設計

Philips 製モニターは、長時間のコンピューター使用により引き起こされる目の疲れを防止するように設計されています。

以下の指示を遵守し、疲労を軽減し、仕事の生産性を最大化するように、Philips 製モニターを使用してください。

1. 適切な環境照明:
   - 画面の輝度と同じになるように、環境照明を調整してください。蛍光灯による照明、光を反射しすぎる表面を避けてください。
   - 輝度とコントラストを適切なレベルに調整してください。
2. 良好な作業習慣:
   - モニターを長時間使用すると、目の不快感を引き起こす可能性があります。作業机では、長い休憩よりも、短い休憩を頻繁にとるようにしてください。例えば、2 時間ごとに 15 分休憩をとるよりは、50 ～ 60 分ごとに 5 ～ 10 分の休憩をとるようにしてください。
   - 画面上に長時間焦点を合わせた後は、様々距離にある物を見るようにしてください。
   - そっと目を閉じて、目を回転させて、リラックスしてください。
   - 作業中は、意識して頻繁にまばたきをしてください。
   - そっと首を伸ばして、頭をゆっくり前後左右に傾けて、痛みを軽減してください。
3. 理想的な作業姿勢
   - 目の高さに合わせて、画面の高さを角度を再調整してください。
4. 目に優しい Philips モニターを選んでください。
   - 映り込み防止画面: 映り込み防止画面は、目の疲労を引き起こす迷惑で気を散らす反射を効果的に低減します。
   - ちらつき防止技術により、輝度を調整し、ちらつきを減らし、より快適に視聴することができます。
   - LowBlue (ブルーライト低減) モード: ブルーライトは目の疲れを引き起こす可能性があります。Philips LowBlue により、様々な作業環境向けに異なるブルーライトフィルターレベルを設定できます。
   - 紙文書のように読むことができる EasyRead (簡単読み取り) モードは、画面上で長い文書を快適に見ることができます。

7. 技術仕様

画像/ディスプレイ	
モニタパネルの種類	VA技術
バックライト	W-LED
パネルサイズ	31.5"幅(80cm)
縦横比	16:9
画素ピッチ	0.18159(H) x 0.18159(V) mm
コントラスト比 (標準)	3000:1
最適解像度	3840 x 2160 @ 60 Hz
表示角度	178°(H) / 178°(V) @ C/R > 10(標準)
表示色	16.7M(8bits)
フリッカーフリー	あり
画像強調	SmartImage
垂直リフレッシュレート	40 Hz - 60 Hz
水平周波数	30 kHz - 140 kHz
sRGB	あり
色域	あり
LowBlueモード	あり
SmartUniformity	あり
Delta E	あり
EasyRead	あり
入出力	
信号入力コネクター	HDMI 2.0 x 2、DisplayPort 1.2 x 1
USB	USB UPx1 (アップストリーム) USB3.2x 4(ダウンストリーム 1つの高速充電B.C 1.2付き)
入力信号	セパレート同期
オーディオイン/アウト	オーディオ出力
便宜	
内蔵スピーカー	3 W x 2
ユーザーの便宜	/◀ /▼ SENSOR/▲ /OK
OSD言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語
その他	VESAマウント(100×100mm)、Kensingtonロック
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、sRGB、Windows 10/8.1/8/7、Mac OS X
スタンド	
チルト	-5 / +30度
スイベル	-180 / +180度
高さ調節	180mm

ピボット	-90 / +90度		
電源			
消費エネルギー	AC入力電圧 100VAC、60Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	60.8W（標準）	60.3W（標準）	60.2W（標準）
スリープ(スタンバイモード)	0.3W	0.3W	0.3W
オフモード	0.3W	0.3W	0.3W
オフモード（ACスイッチ）	0 W	0 W	0 W
熱放散*	AC入力電圧 100VAC、60Hz	AC入力電圧 115VAC、60Hz	AC入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	207.5BTU/時（標準）	205.8BTU/時（標準）	205.5BTU/時（標準）
スリープ(スタンバイモード)	1.02BTU/時	1.02BTU/時	1.02BTU/時
オフモード	1.02BTU/時	1.02BTU/時	1.02BTU/時
オフモード（ACスイッチ）	0 BTU/時	0 BTU/時	0 BTU/時
オンモード（ECOモード）	37.1W（標準）		
PowerSensor	12.2W（標準）		
電源LEDインジケータ	オン：白、スタンバイ/スリープモード：白（点滅）		
電源	内蔵、100～-240V AC、50/60Hz		
寸法			
製品（スタンド付き）（幅x高さx奥行き）	714 x 649 x 280 mm		
製品（スタンドなし）（幅x高さx奥行き）	714 x 422 x 62 mm		
梱包サイズ（スタンド付き）（幅x高さx奥行き）	930 x 563 x 186 mm		
重量			
製品（スタンド付き）	11.55 kg		
製品（スタンドなし）	7.54 kg		
製品（梱包付き）	14.76kg		
環境条件			
温度（操作時）	0° C ～ 40° C		
相対湿度（動作）	20% ～ 80%		
気圧（動作）	700 ～ 1060 hPa		
温度範囲（非操作時）	-20° C ～ 60° C		
相対湿度（非操作時）	10% ～ 90%		
気圧（非操作時）	500 ～ 1060 hPa		
環境およびエネルギー			
ROHS	あり		
梱包	100%リサイクル可能		
特定物質	100% PVC BFRを含まない筐体		
キャビネット			

色	ブラック
仕上げ	テクスチャ

注

1. このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
2. SmartUniformity および Delta E の情報シートは、ボックスに含まれます。

7.1 解像度とプリセットモード

従ってください。

1 最大解像度
3840 x 2160 @ 60 Hz

2 推奨解像度
3840 x 2160 @ 60 Hz

水平周波数（kHz）	解像度	垂直周波数（Hz）
31.47	720 x 400	70.09
31.47	640 x 480	59.94
35.00	640 x 480	66.67
37.86	640 x 480	72.81
37.50	640 x 480	75.00
35.16	800 x 600	56.25
37.88	800 x 600	60.32
46.88	800 x 600	75.00
48.08	800 x 600	72.19
47.73	832 x 624	74.55
48.36	1024 x 768	60.00
56.48	1024 x 768	70.07
60.02	1024 x 768	75.03
44.77	1280 x 720	59.86
60	1280 x 960	60
63.89	1280 x 1024	60.02
79.98	1280 x 1024	75.03
55.94	1440 x 900	59.89
65.29	1680 x 1050	59.95
67.50	1920 x 1080	60.00
133.293	1920 X2160	59.99
88.79	2560 x 1440	59.95
67.50	3840 x 2160	30.00
135.50	3840 x 2160	60.00

注
ディスプレイは3840 x 2160の解像度で最高の画像を表示します。最高のディスプレイ画質で表示するには、この解像度推奨に

8. 電源管理

PCにVESA DPM準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニタは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平同期	垂直同期	使用電力	LED色
アクティブ	オン	あり	あり	60.3 W（標準） 121.2W（最大）	白
スリープ（スタンバイモード）	オフ	なし	なし	0.3 W（標準）	白（点滅）
オフモード（ACスイッチ）	オフ	-	-	0 W（標準）	オフ

次のセットアップは、このモニタの消費電力を測定するために使用されます。

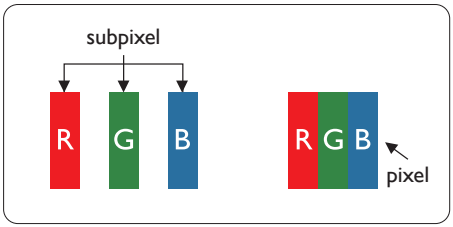
- ネーティブ解像度：3840 x 2160
- コントラスト：50%
- 輝度：70%
- 色温度：6500k（完全な白パターンの場合）
- オーディオ／USB インターフェース非アクティブ（オフ）

注
このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

9. カスタマサポートと保証

9.1 Philipsのフラットパネルモニタ画素欠陥ポリシー

Philipsは最高品質の製品を提供するために懸命に努力してます。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルモニタで使用されるTFTモニタパネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philipsでは保証期間中であれば、欠陥があるモニタを修理または交換することを保証します。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFTモニタパネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、モニタのサブ画素の0.0004%を超えただけで欠陥となります。さらに、Philipsは特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

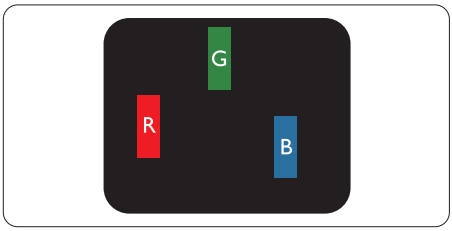
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つの色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

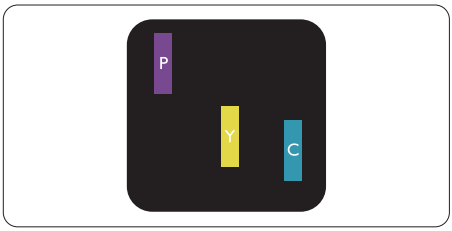
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には2つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはモニタが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介します。

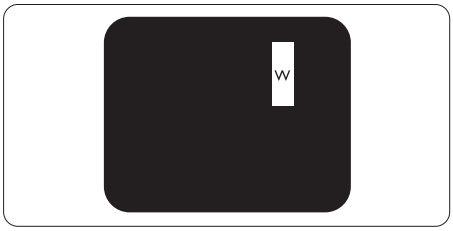


1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素：

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑（ライトブルー）

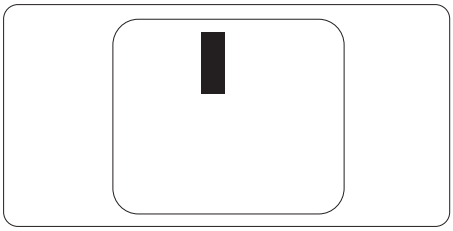


3つの隣接する点灯サブ画素（1つの白い画素）。

注
緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

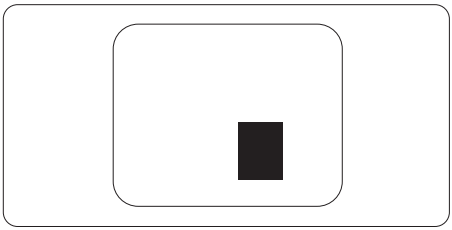
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはモニタが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はとても目立つため、Philipsでは画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philipsフラットパネルモニタの TFTモニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
2つの隣接する点灯サブ画素	1
3つの隣接する点灯サブ画素（1つの白い画素）	0
2つの明るいドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	3

黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	5つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	0
2つの黒いドット欠陥の間の距離*	>15mm
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	5つ以下

ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	5つ以下

注
1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

9.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Web サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips カスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

フィリップスのウェブサイトのサポートページに掲載されている地域サービスホットラインの重要な情報マニュアルを参照してください。

10. トラブルシューティング& FAQ

10.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

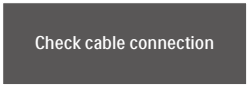
写真が表示されない（電源LEDが点灯しない）

- 電源コードがコンセントとモニタ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、モニタ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない（電源LEDが白くなっている）

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- モニタケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります。

画面に次のようなメッセージが表示される



- モニタケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。（また、クイックスタートガイドも参照してください）。
- モニタケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

自動ボタンが機能しない

- 自動機能はVGAアナログモードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注
自動機能は、DVIデジタル信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からモニタの接続を切ってください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup（セットアップ）のフェーズ/クロックを使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される

- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される

- OSDメインコントロールで「自動」機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでセットアップのフェーズ/クロックを使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- LCDモニタで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。
- スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- PCのディスプレイ解像度をモニタの推奨される画面のネーティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使用される液晶の通常の特性です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

更なる支援については、重要情報マニュアルに記載されているサービス連絡先情報を参照して、Philipsカスタマーサービス担当者に連絡してください。

* 機能はディスプレイにより異なります。

10.2 一般FAQ

Q1: モニタを取り付けるとき、画面に「このビデオモードを表示できません」というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか?

A: このモニタの推奨される解像度: 3840 x 2160

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたモニタに接続します。
- Windowsのスタートメニューで、設定/コントロールパネルを選択します。コントロールパネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。画面のコントロールパネル内部で、「設定」タブを選択します。設定タブの下の「デスクトップ領域」とラベルされたボックスで、スライダを3840 x 2160画素に動かします。
- 「詳細プロパティ」を開き、リフレッシュレートを60 Hzに設定し、OKをクリックします。
- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが3840 x 2160に設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いモニタを取り外し、Philips LCDモニタを再接続します。
- モニタの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2： CD-ROMの.infと.icmファイルは何のためのものですか? ドライバ (.infと.icm)はどのようにインストールできますか?

A： これらは、モニタ用のドライバファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。モニタを初めてインストールするとき、モニタドライバ (.infと.icmファイル)またはドライバディスクを求められます。指示に下が手、このパッケージに含まれる (付属CD-ROM)を挿入してください。モニタドライバ (.infと.icm files)は、自動的にインストールされます。

Q3： 解像度はどのように調整すればいいのですか?

A： ビデオカード/グラフィックドライバとモニタは使用可能な解像度を一緒に決定します。Windows®のコントロールパネルの「画面のプロパティ」でお好みの解像度を選択することができます。

Q4： OSDを通してモニタを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか?

A： ☰/OKボタンを押してから、「リセット」を押してオリジナルの工場出荷時設定をすべてリコールします。

Q5： LCD画面はきっかき傷への耐性がありますか?

A： 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖た物体から保護するようにお勧めします。モニタを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていないことを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q6： LCD表面はどのようにして洗浄すればいいのですか?

A： 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q7： モニタの色設定を変更できますか?

A： はい、次の手順のように、OSDコントロールを通して色設定を変更できます。

- 「OK」を押してOSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューを表示します
- 「下矢印」を押してオプション「色」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。
  1. 色温度： Native、5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、11500Kの6つの設定があります。5000K範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤-白色調で」と、また11500K温度範囲では、「冷たい青-白色調」というメッセージが表示されます。
  2. sRGB： これは、標準設定で、異なるデバイス (例えば、デジタルカメラ、モニタ、プリンタ、スキャナなど) 間で色が正しく変換されていることを確認します。
  3. ユーザー定義： ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注
加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り (ケルビン度) によって表されます。2004Kなど低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。中間温度は白で、6504Kです。

Q8： LCDモニタをPC、ワークステーション、Macに接続できますか?

A： はい、できます。すべてのPhilips LCDモニタは、標準のPC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Macシステムにモニタを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

Q9： Philips LCDモニタはプラグアンドプレイ対応ですか?

A： はい。モニタは、Windows 10/8.1/8/7、Mac OSXとプラグアンドプレイ互換です。

Q10： LCDパネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか?

A： 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
モニタの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
LCDモニタで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

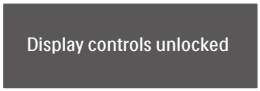
⚠ 警告
スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

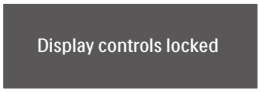
Q11： 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか?

A： お使いのモニタは3840 x 2160のネーティブ解像度で最高の機能を発揮します。もっとも望ましい画像を表示するには、この解像度を使用してください。

Q12： ホットキーをロック解除/ロックする方法は?

A： OSDをロックするには、モニタがオフの状態から、☰/OK (メニュー)ボタンを押したまま電源ボタンを押してモニタをオンにしてください。OSDのロックを解除するには、モニタがオフの状態から、☰/OK (メニュー)ボタンを押したまま電源ボタンを押しモニタをオンにしてください。





Q13： EDFUについて記載された重要な情報マニュアルをどこで入手できますか?

A： 重要な情報マニュアルは、Philipsウェブサイトのサポートページからダウンロードできます。

2020©TOP Victory Investments Ltd。無断複写・転載を禁じます。

この製品は、Top Victory Investments Ltd.によって製造され、その責任下で販売されており、Top Victory Investments Ltd.は、この製品に関する保証人です。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン：M10328BE1T